

平成30年度
動物実験に関する自己点検・評価報告書

令和元年6月

公益財団法人 がん研究会

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「財団法人癌研究会動物実験等取扱規定」、「癌研究会実験実施マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程は、平成 19 年 4 月より施行
4) 改善の方針 該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「財団法人癌研究会動物実験等取扱規定」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程は、平成 19 年 4 月より施行
4) 改善の方針 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 「財団法人癌研究会動物実験等取扱規定」、 「癌研究会実験実施マニュアル」
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

規定に基づき、実験計画の立案から審査・手続き等の実施体制が整えられている。

4) 改善の方針

該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

「財団法人癌研究会組換え実験安全規定」

遺伝子組換え実験承認申請書

癌研究会動物実験計画書

「癌研究会実験実施マニュアル」

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

遺伝子組換え動物実験は、遺伝子組換え実験申請の承認と、動物実験計画書の提出によって適正な実施体制をとっている。

4) 改善の方針

該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

「財団法人癌研究会動物実験等取扱規定」、

動物室使用マニュアル

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

動物実験施設は適正な管理体制を取っている。

4) 改善の方針

該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当せず。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

「財団法人癌研究会動物実験等取扱規定」

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験委員会は、規定に基づき以下の事項について審議し、
所長等に報告または助言をしている。

- (1) 動物実験計画が指針等および本規程に適合していること。
- (2) 動物実験計画の実施状況及び結果に関すること。
- (3) その他、動物実験等の適正な実施のための必要な事項

4) 改善の方針

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

「財団法人癌研究会動物実験等取扱規定」
動物実験計画書
実験計画書作成要項
倫理基準表
動物実験結果報告書

遺伝子組み換え実験承認申請書 遺伝子組み換え実験承認書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 規定に基づき、動物実験計画書の提出と動物実験委員会による審査と承認、結果報告の承認等が適切に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 「財団法人癌研究会動物実験等取扱規程」 動物実験計画書 「財団法人癌研究会遺伝子組換え実験安全規程」 動物室使用マニュアル 「癌研究会実験実施マニュアル」
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験等取扱規程及び遺伝子組換え実験安全規程に基づき、安全に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 「癌研究会実験実施マニュアル」

<p>動物室使用マニュアル 動物室微生物検査報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験施設の管理と動物の飼養保管は適正に実施されている。 報告書末尾には、マウスの年間使用数の集計表を添付している。</p>
<p>4) 改善の方針 該当せず。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物室使用マニュアル 動物室微生物検査報告書 動物室空調機等定期点検報告書 動物室オートクレーブ法定点検</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 施設の空調機設備は、年2回の定期点検により良好な状態に維持管理されている。 その他の設備の点検と消防設備点検も定期的に行なっている。 災害等の緊急時に対応した、実験従事者の避難対策も講じられている。</p>
<p>4) 改善の方針 該当せず。</p>

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>

<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物室使用マニュアル</p> <p>遺伝子組換え実験及び動物実験講習会受講者記録</p> <p>遺伝子組換え実験及び動物実験講習会配布資料</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験責任者および実験実施者には、動物実験講習会の受講が実験実施の必須要件とされている。動物室使用マニュアルについては、新規の機器設置や設備の使用方法的改善等に対応して、毎年度、より現況に即した改訂を加えて、講習会受講者全員に配布している。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当せず。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験に関する自己点検・評価報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>点検と評価は、基本指針に則り適正に行われており、ホームページにも情報の公開を行っている。</p>
<p>4) 改善の方針</p> <p>該当せず。</p>

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

<p>該当せず。</p>

平成 30 年度マウス年間飼育（使用）数

(単位：匹)

部署名	マウス 年間使 用数	備考
病理部	100	100 匹
細胞生物部	2,090	使用動物数は、NSGマウス：約 90匹、NOD-SCIDマウス：0匹、C57BL/6, Balb/cマウス等：約 1000匹、遺伝子改変マウス：約 1000匹
発がん研究部	2,479	マウス 2,479 匹を飼育
がん生物部	0	年間に使用したマウスの総数：0 匹
発がんマイクロビオーム	20	年間に使用したマウスの総数：約 20 匹
細胞老化プロジェクト	800	年間に飼育したマウスの総数：約 800 匹
がんゲノム研究部	1,100	使用動物数は、NSGマウス：約300匹、NOD-SCIDマウス等：約700匹、C57BL6マウス：約20匹、遺伝子改変マウス：約80匹
基礎研究部	2,195	年間のマウス使用総数 2,195 匹
分子薬理部	219	マウス使用匹数：BALB/c-nu/nu ♀ 201 匹、SHO♀12 匹、SC ID-Beige ♀ 6 匹
分子生物治療研究部	419	マウス年間飼育数：NOD-SCID マウス 178 匹、ヌードマウス 241 匹
ゲノム研究部	150	年間で 150 匹 (BALB/c nude) 使用
臨床部	15	年間飼育匹数：15匹
合計	9,587	